

「烏山頭ダム水利システム世界遺産登録」推進同盟

連署のお願い

拝啓：

「烏山頭ダム－嘉南大用水路－三年輪作法」の水利システムは、日本人の八田與一技師による設計・建設、日本政府による費用の後押し、台湾人民による出資・尽力を経て、10年の歳月をかけ、1930年に長さ1,273m、高さ56mの天然の堰堤が完成しました。有効貯水量は1億5000万 m^3 に達し、用水路は16,000km以上であり、嘉義・台南等の地区10万ヘクタールの耕作地に灌漑を行っており、天候に左右される不安定な地帯を瞬く間に台湾の穀倉に変え、嘉南地区の農民に利益をもたらしただけでなく、更には国家の経済発展の基礎を作りました。それを持続可能な運営ができるかどうかは、嘉南地区及び国家の長きにわたる発展の重要な指標です。

日本との協力により、世界文化遺産への登録を成功させることができれば、烏山頭ダム水利システムの過去と未来における卓越した貢献に鑑みて、このシステムで採用されている生態工法を第三世界に紹介することができ、わが国と友好的関係にある国に恵みをもたらすだけでなく、台日両国の本質的な関係を促進させることができ、国内の関連産業の発展を促し、政府の嘉南耕作地水利システムの保護に対する更なる重視へとつながり、環境の保護という面において多大な貢献となります。

わが国はまだ《世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約》に署名しておらず、単独での申請は困難であり、日本と力を合わせる事が申請成功の鍵となります。このような理由から、当同盟では全国の各界が参加しての登録申請の署名活動を行う予定であり、広範な民意によって私たちの願いを強くアピールし、日本と密接に協力していただけることを願っております。

「烏山頭ダム水利システム世界遺産登録」推進同盟

召集人 曾旭正

連絡人 郭華仁

